

輸入AB型肝炎ワクチン Twintrix を接種後 2 週間以内に健診を受ける方は健診先にこの紙を提出してください。

健康診断・人間ドック・消化器内科 主治医先生 御待史

A・B型肝炎ワクチン接種後の HBs 抗原偽陽性について (お知らせ)

名鉄病院予防接種センター長

菊池 均

電話： 052-551-6126

FAX: 052-551-6308

海外渡航の感染予防のため、当院にて GSK 社製の A 型肝炎・B 型肝炎混合ワクチン Twinrix®を接種いたしました。

接種日：

この Twinrix®には B 型肝炎 s 抗原が国産ワクチンの 2 倍量の $20\mu\text{g}$ 含有されており、接種後 10 日以内は HBs 抗原が偽陽性になります (図)。これはワクチン抗原が検査に反応するためですが、HBs 抗原陽性、HBs 抗体陰性のため B 型肝炎感染初期と誤診される方が報告されております。

つきましては、接種後 10 日以内は偽陽性が出ることをお含みおきいただき、できるだけ HBs 抗原測定は接種後 2 週間以上後に行うようご高配をお願い申し上げます。

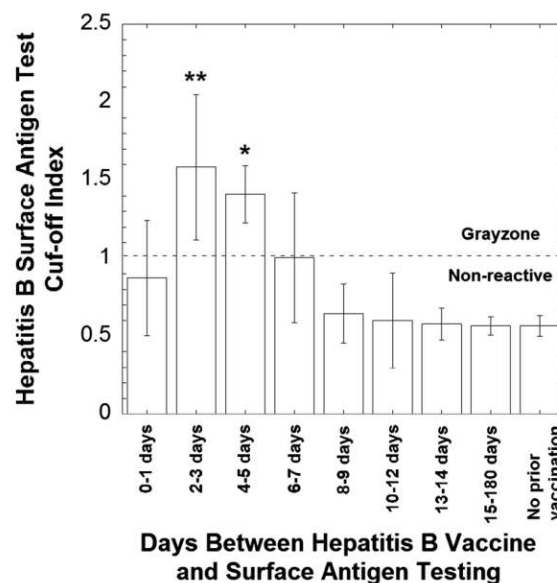


図) Twinrix®接種後の血中 HBs 抗原濃度の推移

Rysgaard et al. BMC Clinical Pathology 2012, 12:15

会社の健康管理・予防接種ご担当者様

輸入 A・B 型肝炎ワクチンの健診検査への影響について（お知らせ）

名鉄病院予防接種センター長

菊池 均

電話：052-551-6126

FAX: 052-551-6308

当院では、海外渡航者の感染予防のため、GSK 社製の A 型肝炎・B 型肝炎混合ワクチン Twinrix®を使用しております。B 型肝炎ワクチンは年齢とともに免疫がつきにくくなる性質があり、国産ワクチンでは 30 歳以上に 3 回接種しても免疫が付くのは 75%程度で、4 人に一人は免疫がつきません。一方輸入ワクチンの Twinrix は成分が 2 倍量の 20 μ g 入っており、3 回接種で 90%以上に免疫がつきます（図 1）。このため、当院では積極的に Twinrix をお勧めしております。

このように非常に免疫のつきの良いワクチンなのですが、接種後 10 日以内に健康診断等で B 型肝炎ウイルスの検査(HBs 抗原)を行うと、ワクチン成分が病原体として検出され（図 2）、B 型肝炎にかかっていると誤診されてしまうことがあります。

つきましては、健康診断・人間ドックで HBs 抗原の項目がある場合には、接種前か、接種後 2 週間以上後に健診を行うようご配慮をお願い申し上げます。

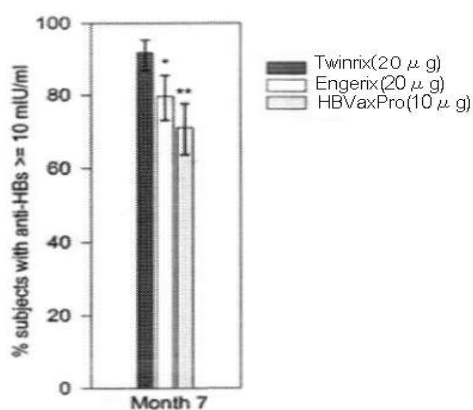


図 1) 40 歳以上での Twinrix と他社 10 μ g

ワクチンの B 型肝炎抗体陽性率比較

HBVaxPro(R)は国産ワクチンではないが、当院での国産ワクチンの 40 歳以上の抗体陽性率の 75%と同程度であった。

J.TravelMed 2011;18:145-148

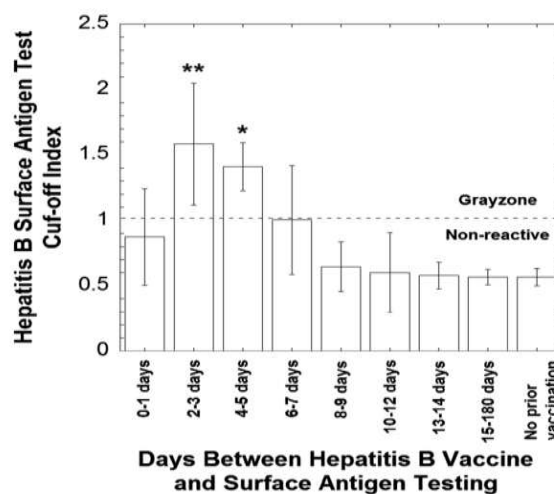


図 2) Twinrix®接種後の血中 HBs 抗原推移

Rysgaard et al. BMC Clinical Pathology 2012, 12:15